東北･八甲田

2日目　箒場岱ルート

〔日時〕
2008年5月3日(日)

〔メンバー〕
菊地L、奥平、神戸(記)

　八甲田は2回目。2年位前の3月にガイドツアーで短いコースに2本行ったことがある。今回は長めのコースなので楽しみにしていた。
朝から曇り空だが視界はそれほど悪くない。ロープウェイ乗り場には観光客を含め大勢の人が並んでいる。山頂駅でスキーを持っている人は、雨が降る予報のせいか少なめ。短いルートに行くグループが多いよう。八甲田は短くて登りの少ないルートが多いので、年齢も高めでゲレンデスキーの人が結構いる。登りでは皆スキー板を担いでいる。
はじめは下だりだがすぐに登りになるので、シールをつけて出発する。山頂駅から平らで広い雪原をしばらく進むと、赤倉岳が見えスキーをザックにつけているグループを追い越して登っていく。30分位で雪が少なくて木が多くなり、スキー板を担いで登山道を歩くことになる。そんなに時間はかからず稜線に着き祠の横をとおり、しばらく歩くと赤倉岳の山頂に到着。7～8人の人がいた。雨も降り出したので、少し休憩をしてシールをはがし滑りはじめる。木のない開けた斜面で晴れていれば、とてもいい所のよう。あまり遠くが見えないので、離れないように気をつけて下っていく。少し下ると視界はだんだん良くなり、先行していた他のグループの姿も見えてきた。小さな沢を渡った後斜面をトラバースぎみに移動し、さらに下っていくと木が多くなり、雪も少なくなる。雪の残っている部分を選び、スキーを脱いで沢を渡ったりしながら、バス停のすぐ手前までスキーで下ることができた。バスを待っていると、ガイドツアーの団体がどんどん下りてきて、にぎわっていた。バス停には茶屋が3軒並んでいて近くには牧草地が広がっている、のどかな風景。
帰りは谷地温泉に入って、どこかで夕飯を食べる予定だったけれど、お店が開いてなくて、酸ヶ湯温泉の売店で買った、青森名物のせんべい汁と予備食のラーメンパスタで夕飯でした。

〔行程〕
10:10 ロープウェイ山頂駅～10:50 (1470m スキーを担ぐ) ～11:15 赤倉岳 11:35～13:15 バス停